

一般社団法人merry attic 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1. 企業の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期は、東京都内における支援基盤の大幅な拡充を図り、8月に葛飾区、10月に中野区において新たに子どもショートステイ事業を開所いたしました。これにより、突発的な事情やリフレッシュを必要とする保護者のレスパイトケア需要に迅速に対応するとともに、子どもたちが安心して過ごせる夜間の居場所としての受け入れ体制を新たに構築いたしました。

また、埼玉県戸田市においては、前年度に続き学童クラブにおけるインクルーシブ化の取り組みを継続いたしました。当期はさらなる質の向上を目指し、外部の特別支援の専門家をアドバイザーとして新たに招聘し、職員向けの専門研修や日々のケアにおける個別ケース相談を定期的に行いました。これにより、発達特性等の事情を持つ子どもたち一人ひとりに寄り添う専門性を組織全体で高め、すべての子どもが排除されない包括的な居場所づくりをさらに深化させました。

さらに、京都府京都市においては、第二回「ロート子どもの夢基金」の助成事業に採択され、「きょうのミライ創造プロジェクト」を展開いたしました。本事業では、当法人が運営する子どもショートステイ事業を利用する生活困窮世帯やひとり親世帯等の児童を主な対象とし、毎週日曜日の継続的な学習支援に加え、音楽会やダンス、テーマパークへの遠足といった多様な体験型ワークショップを年間を通じて実施いたしました。単発の支援に留まらない多角的な関わりを通じて、対象児童の「初めての経験」を数多く創出し、同世代間における体験格差の是正と子どもたちの自己肯定感・主体性の向上において極めて大きな成果を上げました。

全体として、新規拠点の立ち上げに伴う東京都内での職員体制の拡大(新規採用31名)をはじめとする組織基盤の強化を進めつつ、外部専門家の知見を取り入れたインクルーシブケアの質的向上、ならびに民間助成金を活用した先進的な体験支援モデルの確立など、事業の量・質ともに大きく飛躍した1年となりました。学童保育室運営等事業費補助金をはじめとする公的資金の安定的な受け入れに加え、民間助成金や寄付金収入の確保に努め、地域社会の多様な福祉ニーズに持続的に応えるための経営基盤の整備を推進いたしました。

(2) 当期の職員採用状況

拠点	新規採用人数	従業員数(当期末)
埼玉県	10名	46名
沖縄県	3名	16名

東京都	31名	49名
京都府	5名	22名

(3) 財産および損益の状況の推移

別添、決算書類及び勘定科目内訳明細書を参照。

代表理事 上田馨一

以上